



寶性

令和六年 第四号 秋彼岸発行

秋のお彼岸ご案内

彼岸とは、苦しみのこの世界を此岸しがん（この岸）とし、それに対する、覚りの世界を彼岸（彼岸）としたことによります。

春分の日、秋分の日をはさんでそれぞれ前後三日の計七日間を春秋の彼岸、春を「花の彼岸」秋を「月の彼岸」として、ご先祖様を思い、また、極楽浄土への思いを深めます。

「観無量寿経かんむりょうじゆ」に説かれる極楽浄土を心に留める観想法の第一である日想観にっそうかんには、沈む夕日を心に留めるという教えがあることから、夕日が真西に沈むこの期間はまさに極楽浄土を思う特別な時期です。

彼岸の間にお墓参りをし、お念仏を唱えながら、ご先祖様を思い、ご両親に感謝し、そして、ご自身の極楽往生を阿弥陀様
にお願い致しますよう。

彼岸会法要

お中日

- 九月二十二日(祝・日) 午前十一時より
- お彼岸入り 九月十九日(木)
- お彼岸中日 九月二十二日(日)
- お彼岸明け 九月二十五日(水)

※お彼岸のお塔婆はお早めにお申し込みください。



盂蘭盆会ご報告

七月十三日、八月十三日、両日、盂蘭盆会が厳修されました。法要では皆様とご一緒に「浄土宗日常勤行式」のお経をお唱え致しました。ご本堂・阿弥陀如来様の元でお念仏の音が響くのは、住職の一番の喜びであります。

客間では、恒例のお抹茶をお飲みいただき、心頭をお清めいただきました。粗菓は、越中おわらの銘菓「玉天」でした。これもお盆にちなんだものです。

極暑での檀信徒各位のご参加に底頭の思いでございます。



蓮の花のこと

本年も境内にたくさん蓮の花が咲きました。



お盆法要でもお話しさせていただきました「蓮の華」は、仏教で一番大切に重要な華です。あらゆる仏様は、みな、蓮の華の掌に乗られています。

私共も極楽浄土に生まれると、蓮の台に登ります。美しく咲くのはもちろんのことですが、大切に理由を三々四々紹介致します。

一、「如蓮華不着水」と經典にありますように、蓮の華は、清らかな水のもとではなくドロドロした沼や池などで華を咲かせますが、一度咲かせた美しき華は、汚れた水に触れることなく咲きます。私達も汚れた世俗に惑わされることなく、清廉な生活をしたいものです。また、蓮の華は花を咲かせてから実を結ぶのではなく、花を咲かせる以前より実をつけている花です、私共人も生まれる以前より善根の種を宿しています。この善根を大切にしたいものです。

二、「蓮托生」

極楽浄土に咲く蓮の台に共に生まれさせていただけるといふ阿弥陀様の導きです。皆、平等に世俗の貴賤、老若男女等の別なく、争いもない、無限な命の世界に共に同じ蓮の台に生まれるとの教えです。

「阿弥陀経」の中に、極楽浄土には、青、黄、赤、白、黒の五色の蓮の花が咲いており、全てが平等であるとの意味するところです。

三、「露の身は、ここかしこにて消えぬとも心は同じ華の台ぞ」この歌は、法然上人御歌です。

蓮の葉に夜に結んだ夜露が朝とともに、朝日に照らさせあちらこちらで消えていきます。私共の命も朝露と同じように消えてゆくはかないものですが、しかし、心は同じ蓮の掌にありますので、どうぞご安心して下さいませようというお歌です。

四、「先立たば後るる人を待ちやせん、蓮の掌の余ば残して」この御歌も法然上人の蓮にちなんだ歌です。

自分は先に極楽浄土に参りますが、後から来られる人を蓮の台の半分をあげて待っていますので、心豊かに、急がずに、穏やかな生活をなされて下さい。

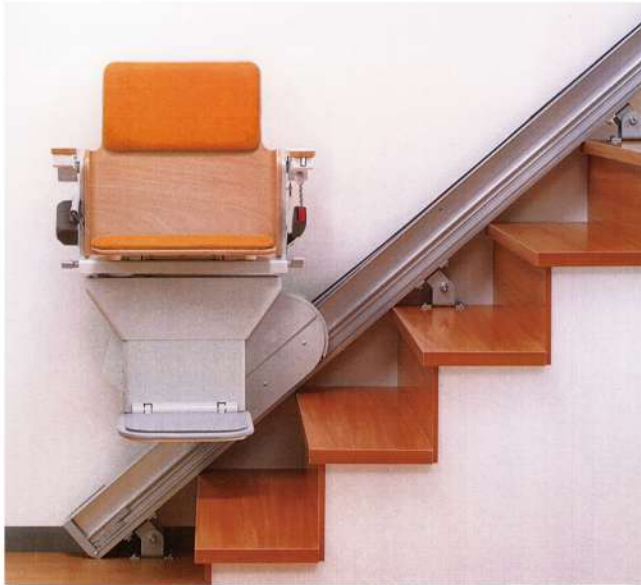
蓮の華にまつわる事柄をご紹介しました。これらの事柄により、蓮の花を見ていると、心洗われ、御仏の教えが伝わってまいります。

蓮の花



昇降機設置

御仏具料・今年度の新亡奉納金をもちまして、本堂渡廊下階段に、椅子式階段昇降機を設置致しましたのでご利用下さい。



實性寺の
彼岸花
ひがんばな

お彼岸の頃、開花するので彼岸花と呼ばれています。またマンジュシャゲ(曼珠沙華)とも呼ばれ梵語「赤い花・天上の花」の意味で、おめでたい兆しとされています。



境内の蓮の花



開門・閉門時間

冬時間にともない開門・閉門時間を変更させていただきます。

十一月～二月まで

● 開門 午前七時

● 閉門 午後四時

ご理解・ご協力の程宜しくお願い致します。

★夏の風物「風鈴」を飾りました。



★ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込みください。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用ください。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出ください。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七ー十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

